

2024. 11版

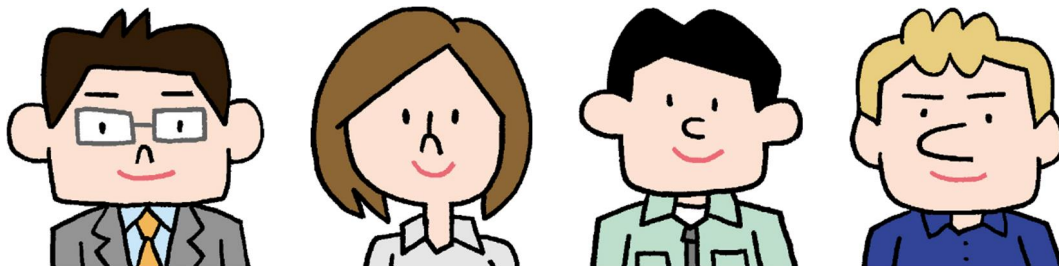
大規模災害対策 マニュアル (学生用)



岐阜大学
GIFU UNIVERSITY

大規模災害対策マニュアル目次

○ 災害に対する心構え	1
○ 地震発生後の行動フロー図	2
○ 安全確保行動マニュアル	
1 個人での行動	3
岐阜大学柳戸地区避難場所	4
2 ケース別の対応事例	
キャンパス内	5
エレベーター内（フロー図）	6
キャンパス以外	7
○ 安否確認・被害状況調査マニュアル	
1 安否確認	8
2 家族友人との安否確認方法	10
3 障がいのある学生への対応	10
4 休講・授業再開の連絡	10
○ 安否確認システムについて	
1 安否確認システムの運用について	11
2 安否確認システムが利用できない者に対する 安否の確認	11
○ 岐阜市 震度マップ、地震ハザードマップ	12
○ 岐阜大学安否確認システム（ANPIC）利用者マニュアル	20

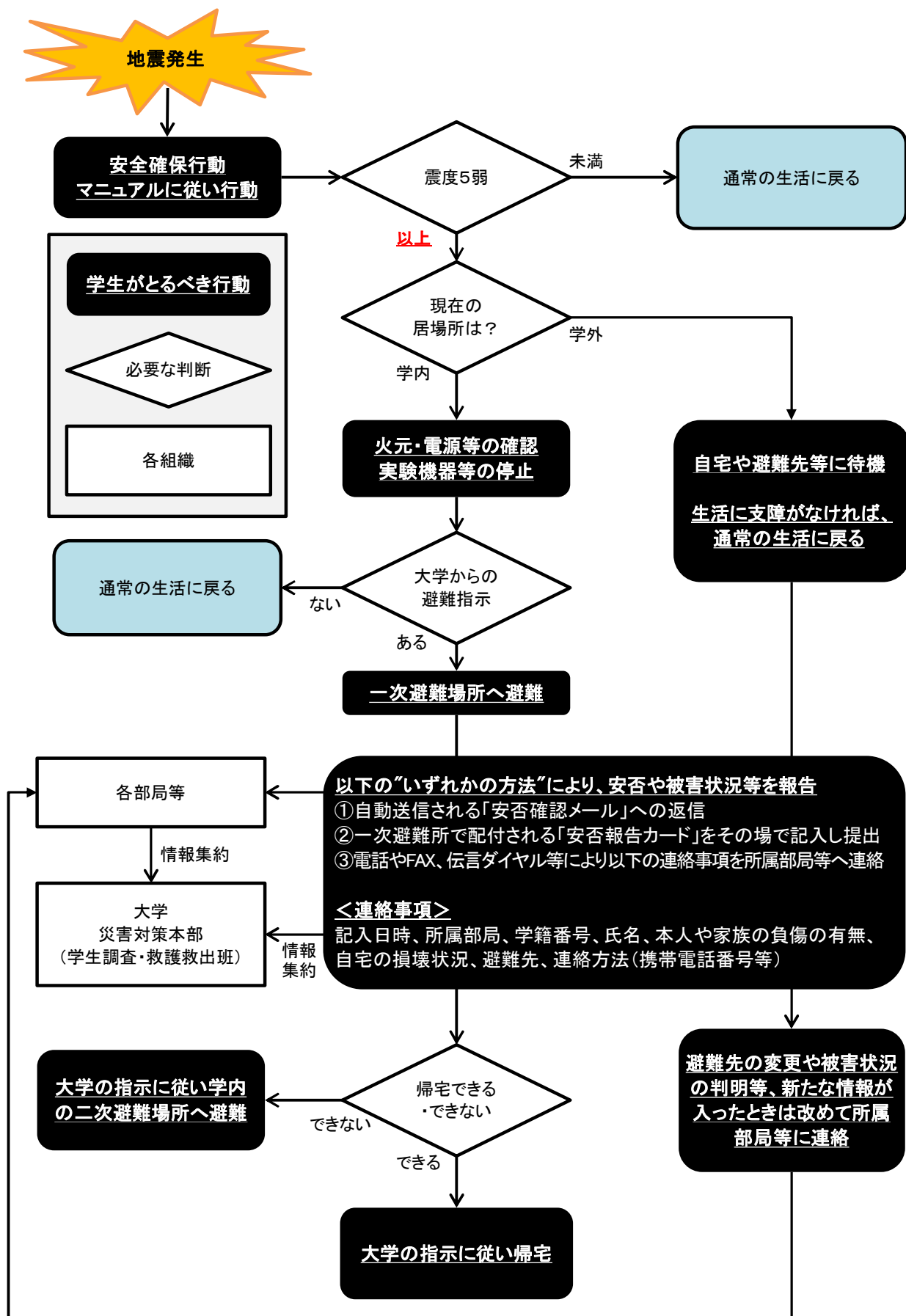


災害に対する心構え

- 日頃から、防災知識を身につける
- 日頃から、避難場所、避難経路、AED 設置場所を確認しておく
- 日頃から、非常時の連絡方法を確認しておく
- 日頃から、帰宅困難に備えておく
- 日頃から、ハザードマップを知っておく
- 日頃から、応急手当の方法を覚えておく
- 防災訓練に必ず参加する



地震発生後の行動フロー図（学生）



安全確保行動マニュアル



1 個人での行動

地震直前

緊急地震速報が発出されたら、周りの人に知らせ、身を守る準備！
火を消す。安全な場所への避難、机の下等へ

地震発生

1. 先ず、身を守る！

姿勢を低くし、頭を守り、動かない（シェイクアウト）
書棚・キャビネットから離れる、机の下へ



2. すばやく火の始末！

ガスの元栓、コンセント、実験器具

3. 非常脱出口の確保！

ドア付近にいる者は余裕があればドアを開ける

※ケース別の対応事例→次項

揺れがおさまったら

1. 火元を確認！

火が出たら、落ち着いて初期消火

2. 同教室、同室員の安全を確認！

倒れた書庫等の下敷きになっている人がいないか確認し、救出活動にあたる（救助又は応援要請）。

3. 作業中の実験器具等の停止！

4. 隣接する部屋で助け合う！

他の部屋・教室などで倒れた書庫等の下敷きになっている人がいないか確認し、救出活動にあたる（救助又は応援要請）。

5. 余震に注意！

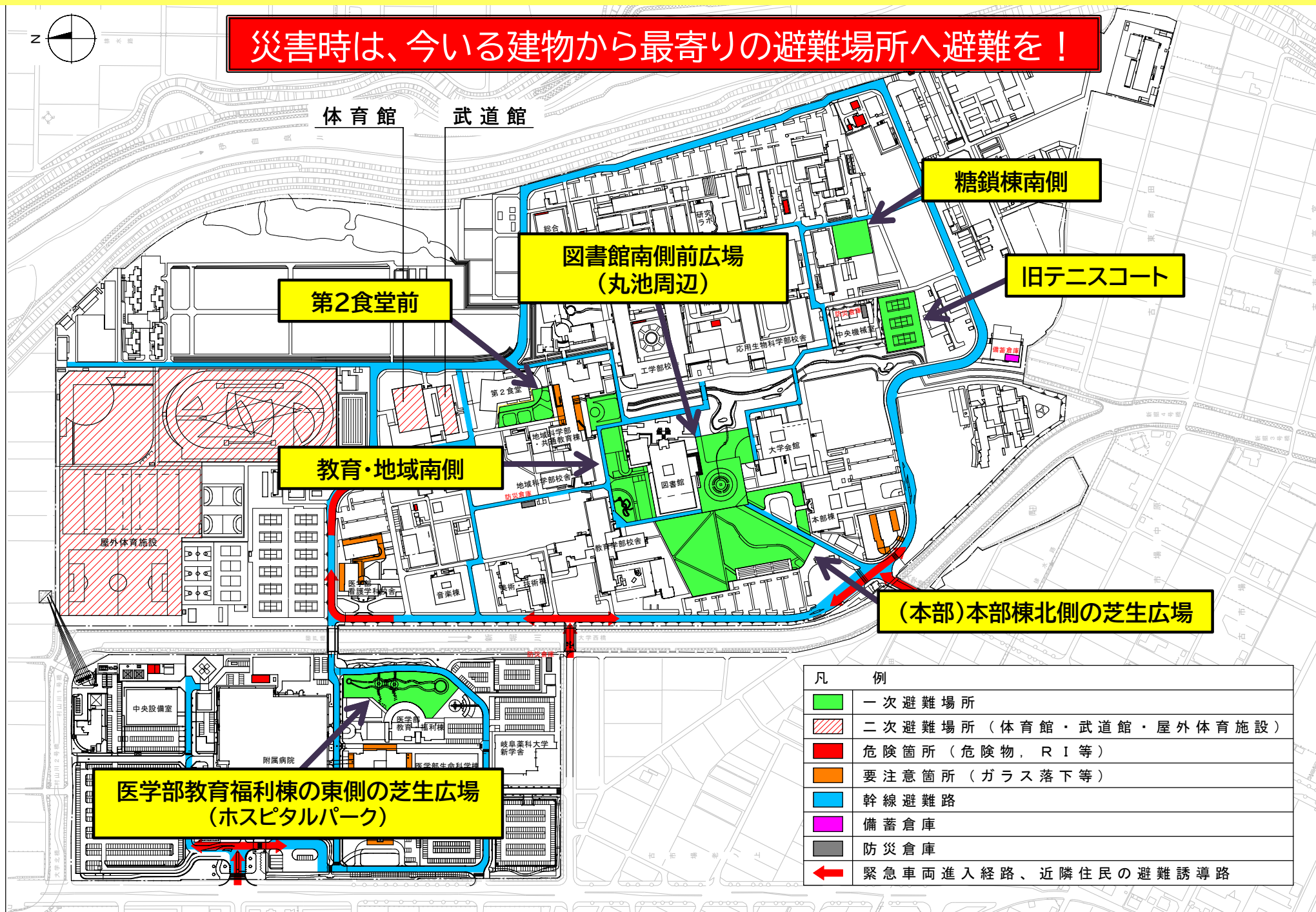
建物の状況により、余震で倒壊する恐れがないと判断されるまで、ひとまず建物外に待避するため、最寄りの一次避難場所（次頁別紙）に移動

その後、大学の指示により、二次避難場所（体育館、武道場、屋外体育施設）（次頁別紙）へ避難

大規模災害に備えて！

R7.4.1～

災害時は、今いる建物から最寄りの避難場所へ避難を！



揺れが収まったら最寄りの一次避難場所にただちに移動！

2 ケース別の対応事例



キャンパス内

《 授業中 》

- (1) 揺れを感じたら、机や実験台の下に隠れ、カバンや上着等で頭を保護する。
- (2) 揺れが収まったら最寄りの一次避難場所に移動する。

《 大講義室・講堂で講演を聴いているとき 》

- (1) 揺れを感じたら、まずは椅子の間にしゃがみ、カバンや上着等で頭を保護する。
- (2) 揺れが収まったら最寄りの一次避難場所に移動する。

《 実験中 》

- (1) 揺れを感じたら、まずは身の安全を確保できる場所に移動する。
- (2) 揺れが収まったら、実験を中止し、火の始末をして、最寄りの一次避難場所に移動する。

《 学内移動中 》

- (1) 揺れを感じたら、ガラスの落下等、今いる場所の上下左右に注意し、最も安全と判断できる場所で、身の安全を確保する。
- (2) 揺れが収まったら最寄りの一次避難場所に移動する。

《 エレベーター内 》

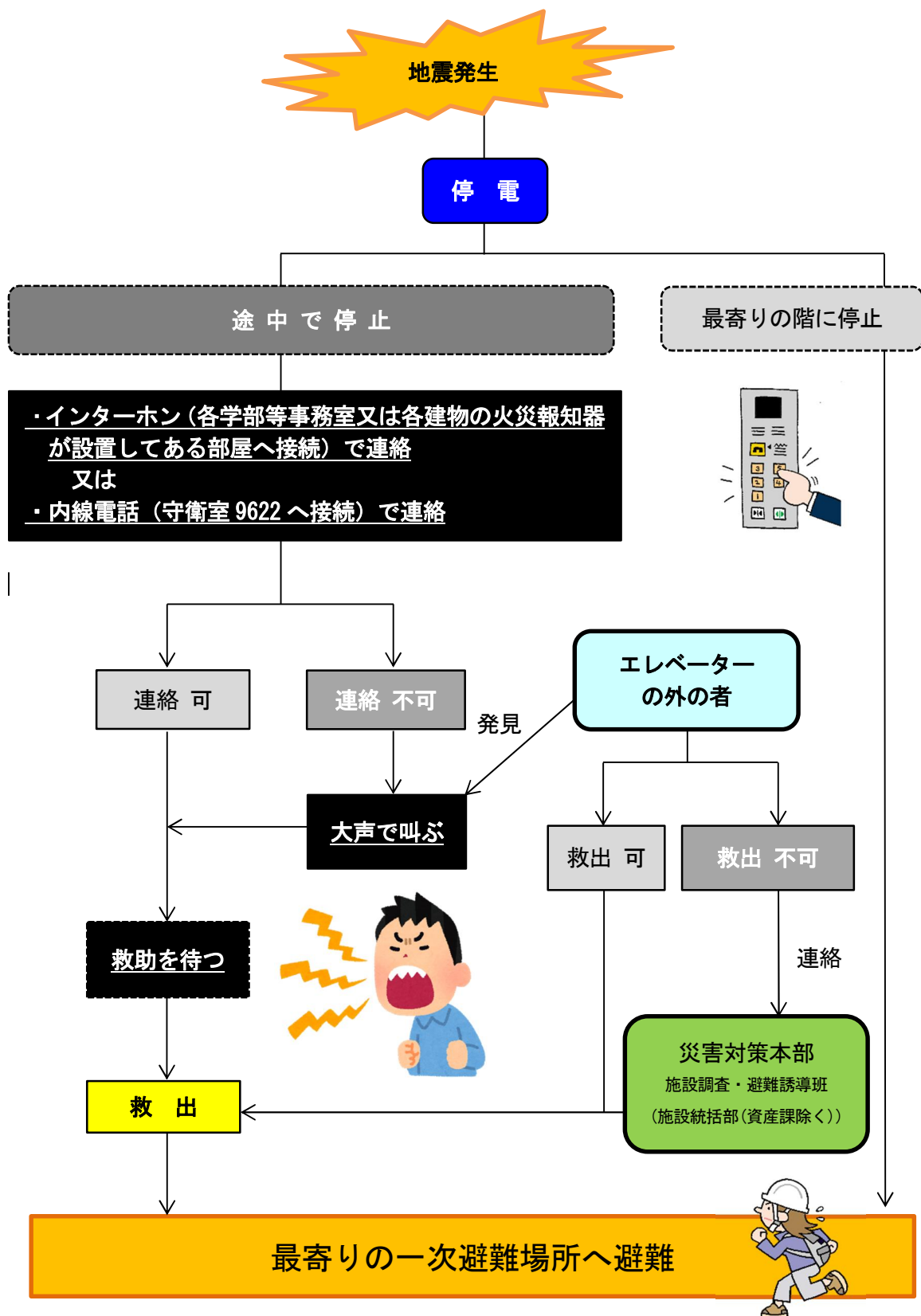
- (1) 最寄りの階に停止し、扉が開いたら階段を利用して避難する（身の安全を確保する）。
- (2) 途中停止し、中に閉じ込められた場合は、インターホン（各学部等事務室又は各建物の火災報知器が設置してある部屋へ接続）・内線電話（守衛室へ接続）にて連絡を取り外部からの救出を待つ（エレベーター内の内線電話は、断線していない限り停電後6時間使用できる（非常用バッテリー搭載））。
インターホン・内線電話により連絡ができない場合は、エレベーター内で大声をあげて救助を求める。
- (3) エレベーター内に閉じ込められた者がいた場合は事務室・災害対策本部へ連絡する。
- (4) エレベーターから出た後は、最寄りの一次避難場所に移動する。

《 学生寮内 》

- (1) 基本的には、教室等にいるときと同様に、あわてて外へ飛び出さず、机の下等に身をかくし揺れがおさまるのを待つ。
- (2) 揺れが収まったら最寄りの一次避難場所に移動する。



エレベーター内（フロー図）



キャンパス以外

1 乗り物に乗っているとき

- ・ 急停車に備え、つり革・手すりなどにすぐつかまる。
- ・ 停車しても、勝手に非常コックを使って車外へ出たり、窓から飛び出したりせず、乗務員の指示を待つ。
- ・ 特に地下鉄などは、線路横に高圧電流が流れており極めて危険。

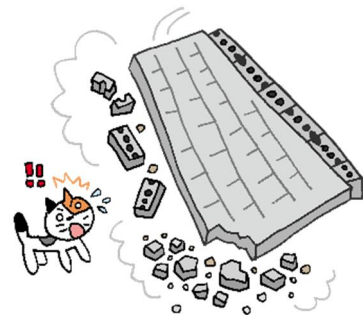
2 地下にいるとき

- ・ あわてて出入り口に殺到せず、いったん壁や太い柱に身を寄せ、係員の指示に従う。
- ・ 停電になっても非常用照明灯がすぐつくので、落ち着いて行動する。
- ・ 出火がある場合は、近くの消火器ですばやく消火する。
- ・ 地下での火災は煙や有毒ガスが充満しやすく危険である。ハンカチなどで鼻と口を覆い、体をかがめて這うように壁伝いに煙の流れる方向へ避難する。



3 路上にいるとき

- ・ その場に立ち止まらず、衣服や持ち物などで頭を覆いながら近くの空地、公園や頑丈そうなビルの中へ避難し、落下物からの危険を回避する。
- ・ ブロック塀や自動販売機など設置物のそば、ビルの壁際などへは近づかない。
- ・ 垂れ下がった電線には近づかない
- ・ 崖や川べりは、地盤が緩み崩れやすくなっている場合があるので近づかない。
- ・ 地面の亀裂、陥没や電柱、塀等の転倒に注意する。



4 自宅等にいるとき

- ・ 基本的には、教室等にいるときと同様に、あわてて外へ飛び出さず、机の下等に身をかくし揺れがおさまるのを待つ。
- ・ 足元の散乱物や落下物に注意して避難などの対応を行う。

安否確認・被害状況調査マニュアル

学生安否確認マニュアル

1 安否確認・被災状況調査

震度5弱以上の地震発生と同時に、【安否確認】メールが一斉に自動送信されるので、安否や被害状況などの情報を返信する。

メールを受信できない状況にある場合は、次の方法で大学に連絡する。

①地震発生時に大学にいるとき

避難場所において【安否報告カード】を受け取り、その場で記入し提出する。

②地震発生時に大学にいないとき

FAX、電話、NTT 災害伝言ダイヤル等により所属学部・研究科の事務室に連絡する。

【安否報告カード（学生用）】

安否報告カード Safety Confirmation Card	
記入日時 Date of Listing	月 日 時 分 Month Day Time :
所属 Affiliation	教育・地域・医学・工学・応生・学環・その他 (Education, Regional Studies, Medicine, Engineering, Applied Biological Sciences, School of Social System Management, other)
学籍番号 Student ID Number	
氏名 Name	
負傷の有無 Your Safety Status	無 有 () Safe Injured ()
連絡方法 Contact (携帯電話番号等) (Mobile Phone Number)	

【大学への電話等連絡先】

FAX 又は電話で連絡する場合、以下を連絡

学部・学年・氏名・負傷の有無・家族の状況・自宅の状況・避難先・連絡方法等

＜連絡先一覧表＞

部 局	FAX	TEL
教育学部・教育学研究科	058-293-2207	058-293-2206
地域科学部・地域科学研究科	058-293-3008	058-293-3009
医学部・医学系研究科(看護以外)	058-230-6074	058-230-6075
医学部・医学系研究科(看護)	058-293-3219	058-293-3217
工学部・工学研究科	058-293-2379	058-293-2371、2828
応用生物科学部	058-293-2841	058-293-2838
社会システム経営学環	058-293-3441	058-293-3440
自然科学技術研究科（工学系）	058-293-2379	058-293-2377
〃（応生系）	058-293-3410	058-293-2841
共同獣医学研究科	058-293-2992	058-293-2987
連合農学研究科	058-293-2992	058-293-2984
連合獣医学研究科	058-293-2992	058-293-2987
連合創薬医療情報研究科	058-293-7604	058-293-7602
グローバル推進機構	058-293-2143	058-293-2137
学務部教務課	058-293-3382	058-293-2133

【NTT 災害用伝言ダイヤル「171」】

メッセージ録音 171+1+大学に届け出ている自宅等の電話番号(市外局番から)

メッセージ再生 171+2+大学に届け出ている自宅等の電話番号(市外局番から)

※伝言録音時間 30 秒

※日頃から、災害用伝言ダイヤル「171」の利用方法を理解しておくこと

※録音内容

学部・学年・氏名・負傷の有無・家族の状況・自宅の状況・避難先・連絡方法等

2 家族・友人との安否確認方法

家族・友人と互いに安否を確認しあう場合は、NTT 災害用伝言ダイヤル、携帯電話による情報登録検索、インターネットによる情報登録検索等を利用する。

日頃から、震災時にどのような連絡体制をするのかを決め、周囲に連絡しておく。

○ 災害用伝言ダイヤル (171)

NTT 東日本・NTT 西日本が災害発生時に臨時開設する緊急時の伝言サービス。災害発生直後に、被災地への安否を気遣う連絡が急増して通信しにくくなることへの対処として設けられる。被災者の家の電話番号をキー（手がかり）にして、音声で伝言を登録したり確認したりすることができる。

メッセージ録音 171+1+自宅等の電話番号(市外局番から)

メッセージ再生 171+2+自宅等の電話番号(市外局番から)

※伝言録音時間 30 秒

※日頃から、災害用伝言ダイヤル「171」の利用方法を理解しておくこと

※災害時には、音声がつながりにくい等の障壁があるため、災害用伝言板（web171）等の利用も心がける。

○ 災害用伝言板 (web171)

大地震などの災害発生時に、NTT が提供する安否確認サービス。災害時専用の伝言板サイト（<https://www.web171.jp>）に、テキスト・音声・画像などで伝言情報を登録できる。登録された情報は、全国及び海外から閲覧できる。災害用ブロードバンド伝言板。

○ 災害用伝言板の利用（各携帯電話事業者が提供）

携帯電話のインターネット接続状態で、被災地の方が伝言を文字によって登録し、携帯電話番号をもとにして全国から伝言を確認する事ができる。

※日頃から、災害用伝言板の利用方法を理解しておくこと

3 障がいのある学生への対応

障がいのある学生に対して、避難の際の配慮を十分に行うこと。

4 休講・授業再開の連絡

休講や授業再開のお知らせは、決定後速やかに、大学のホームページ、学務情報システム、メディア（テレビ、ラジオ、新聞）又は安否確認システムにより行う。

安否確認システムについて

1. 安否確認システムの運用について

(1) 安否確認メールの配信手段

- ① 日本気象協会の気象情報と連動して、岐阜県、愛知県内で震度 5 弱以上の地震が発生した場合に安否確認メールが自動配信される。

ANPIC 送信アドレス [no-reply@jecc.jp]

- ② 安否確認訓練等の際は、手動配信で使します。

(2) 安否確認メールに対する確認・返信方法

- ① 安否確認メールを受信したら、メール内にある

URL (https://anpic*jecc.jp/****)

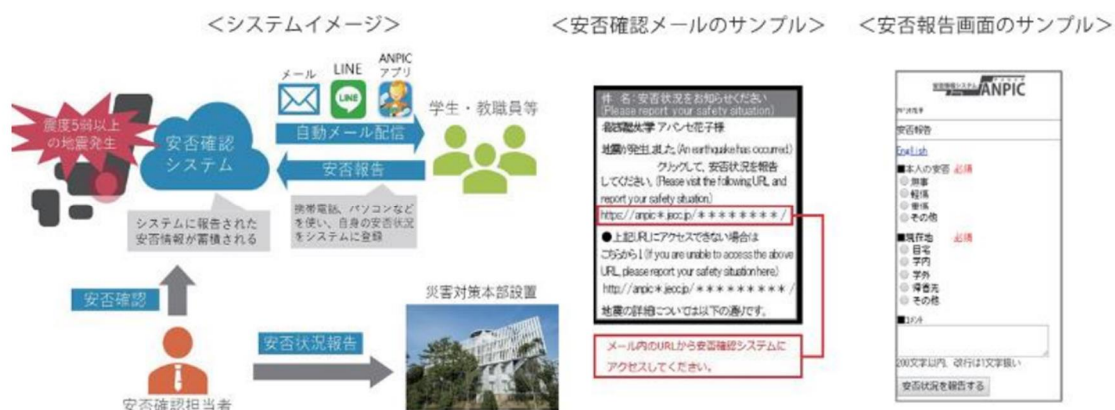
へアクセスし、安否状況を報告（安否確認システムイメージ参照）。

岐阜大学では、安否確認のための第 1 緊急連絡先を機構メールアドレスとしている。地震はいつでもどこで起きるかわからないことから、安否確認メールはスマートフォン等、いつでもどこでも受け取れる体制にしておく必要がある。

以下のいずれか、もしくは複数の方法で安否確認メールを受信できる設定を行う。

1. スマートフォン等により機構メールアドレスへ送信された安否確認メールを受信
2. ANPIC サイトに学籍番号でログインし、携帯やプロバイダ等で登録されたメールアドレスを第 2、第 3 緊急連絡先として登録し、それらのメールアドレスから安否確認メールを送信
3. App Store や Google Play より ANPIC のアプリをインストールし、アプリより安否確認メールを受信（この場合、アプリから回答可能）
4. ANPIC のアプリのインストール後、LINE より安否確認メールを受信（LINE から回答可能）

<安否確認システムイメージ>

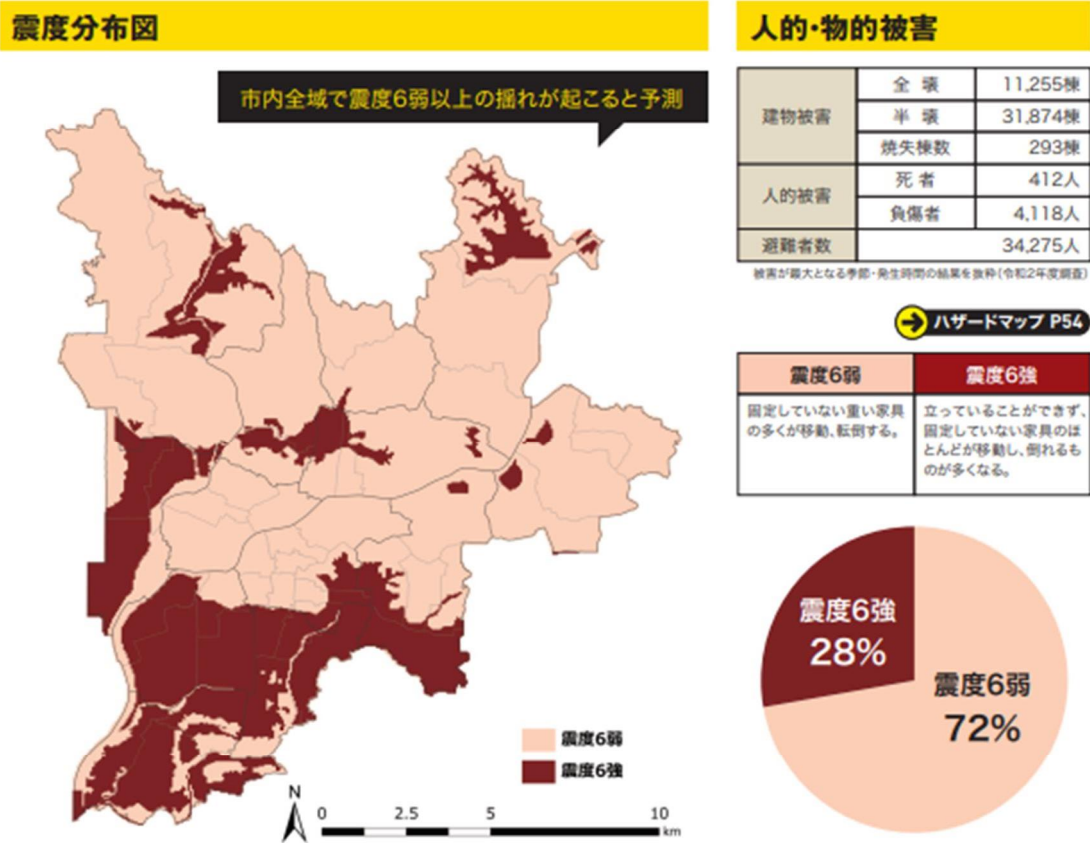


2. 安否確認システムが利用できない者に対する安否の確認

学内の避難場所に避難している場合は、「安否報告カード」により、安否を確認します。それ以外の場合は、FAX、電話、NTT 災害伝言ダイヤル等により所属学部・研究科の事務室に連絡してください。連絡が無い場合は、各部局が有する最新の学生情報により、携帯電話及び自宅（実家）等に電話連絡を行い、安否状況を確認します。本人と連絡が取れない場合は、本人と関わりのある者（友人、同じサークル活動のメンバー等）から情報入手するよう努めます。

南海トラフ巨大地震発生時に予測される被害

岐阜市では、南海トラフ巨大地震のうち、本市への影響が最も大きくなる宮崎県日向灘沖を震源とする地震を対象に、被害想定調査を実施しました。



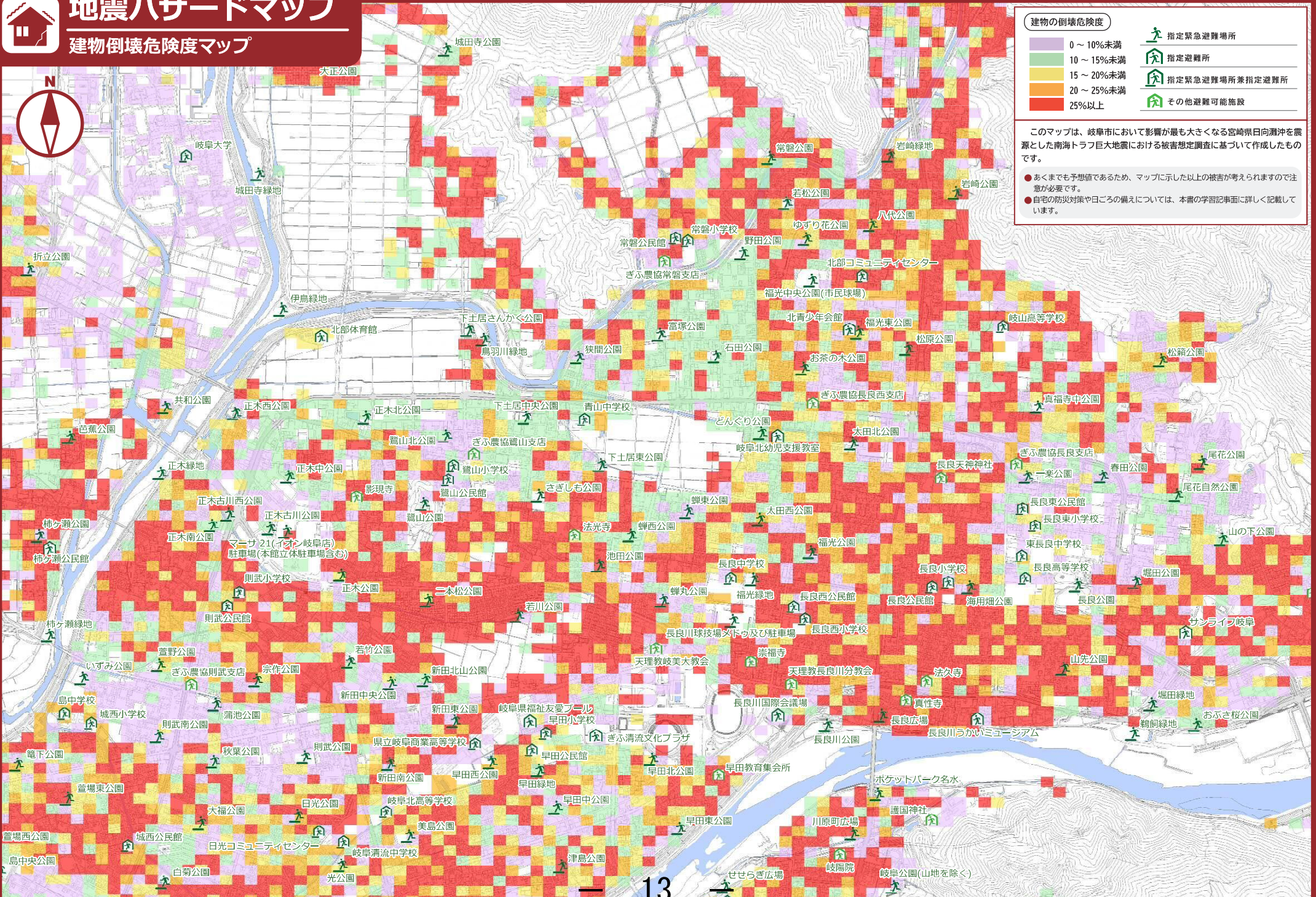
これらの被害は、みなさんが日ごろから家庭でできる地震対策をし、揺れがあった時に適切な行動をとることで減らすことができます。地震は突然起こるので、日常からの備えがどれだけできているかが大切です。日常の対策編に記載されている家の耐震化や家具固定、防災用具の備蓄に取り組むとともに、本章を参考に地震発生後に適切な行動をとりましょう。

出典： 岐阜市 HP「岐阜市総合防災安心読本」(次ページ以降のハザードマップも同様)
<https://www.city.gifu.lg.jp/kurashi/bousai/1001378/index.html>



地震ハザードマップ

建物倒壊危険度マップ



建物の倒壊危険度

- 0～10%未満
- 10～15%未満
- 15～20%未満
- 20～25%未満
- 25%以上

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 指定緊急避難場所兼指定避難所
- その他避難可能施設

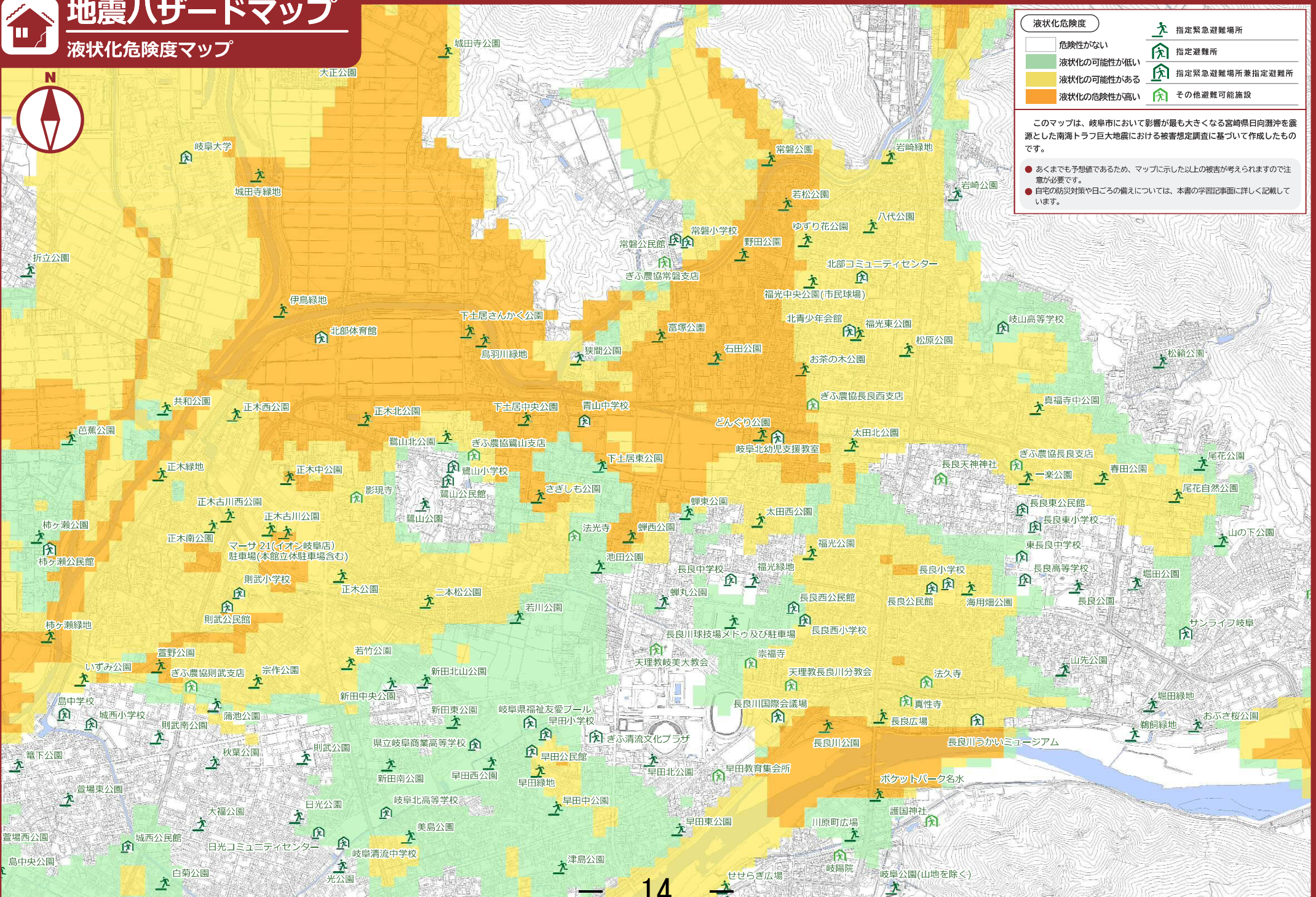
このマップは、岐阜市において影響が最も大きくなる宮崎県日向灘沖を震源とした南海トラフ巨大地震における被害想定調査に基づいて作成したものです。

- あくまでも予想値であるため、マップに示した以上の被害が考えられますので注意が必要です。
- 自宅の防災対策や日ごろの備えについては、本書の学習記事面に詳しく記載しています。



地震ハザードマップ

液状化危険度マップ



液状化危険度		指定緊急避難場所	
危険性がない		指定避難所	
液状化の可能性が低い		指定緊急避難場所兼指定避難所	
液状化の可能性がある		その他避難可能施設	
液状化の危険性が高い			

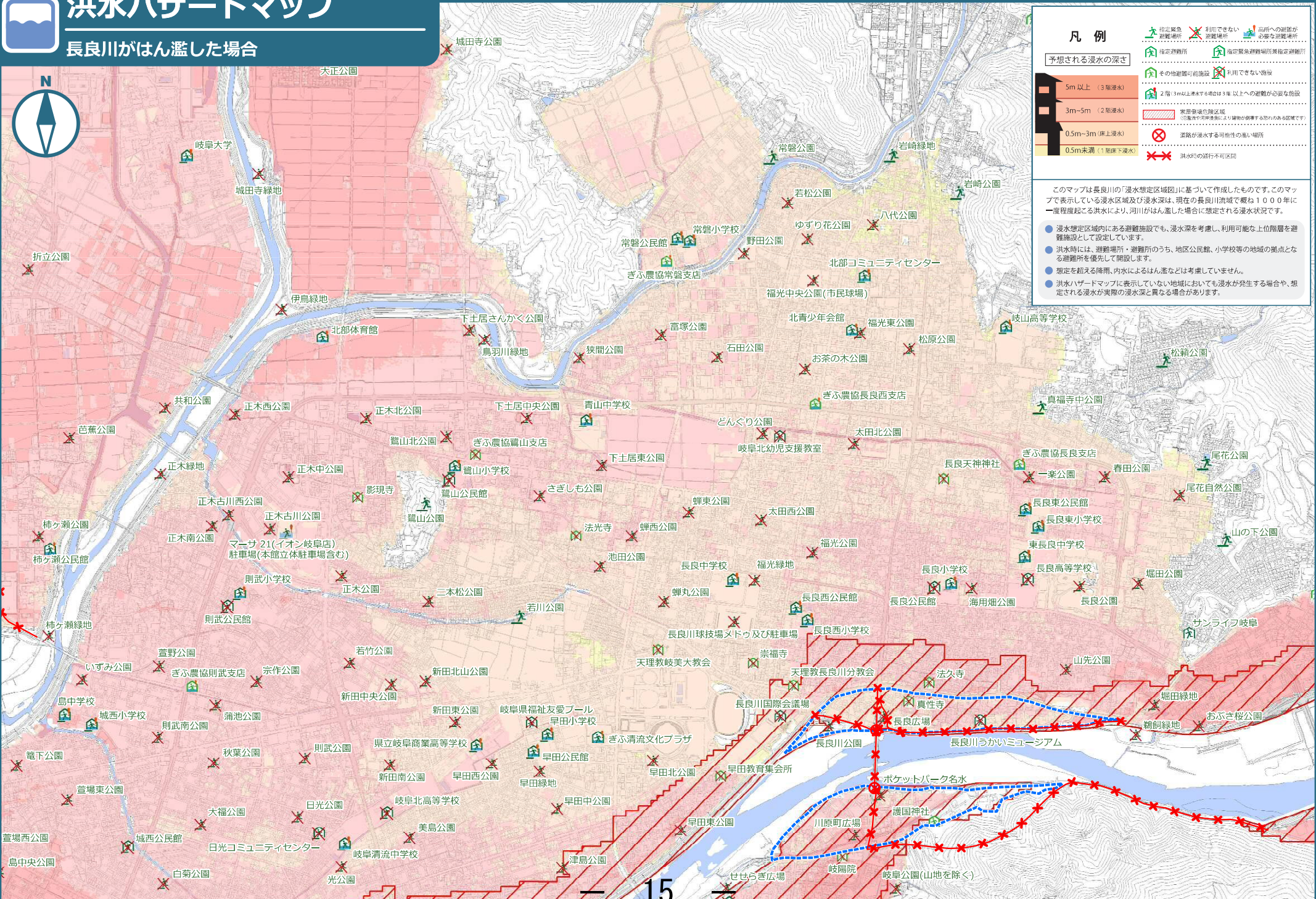
このマップは、岐阜県において影響が最も大きくなる宮崎県日向灘沖を震源とした南海トラフ巨大地震における被害想定調査に基づいて作成したものです。

- あくまでも予想値であるため、マップに示した以上の被害が考えられますので注意が必要です。
- 自宅の防災対策や日ごろの備えについては、本書の学習記事面に詳しく記載しています。



洪水ハザードマップ

長良川がはん濫した場合



凡 例

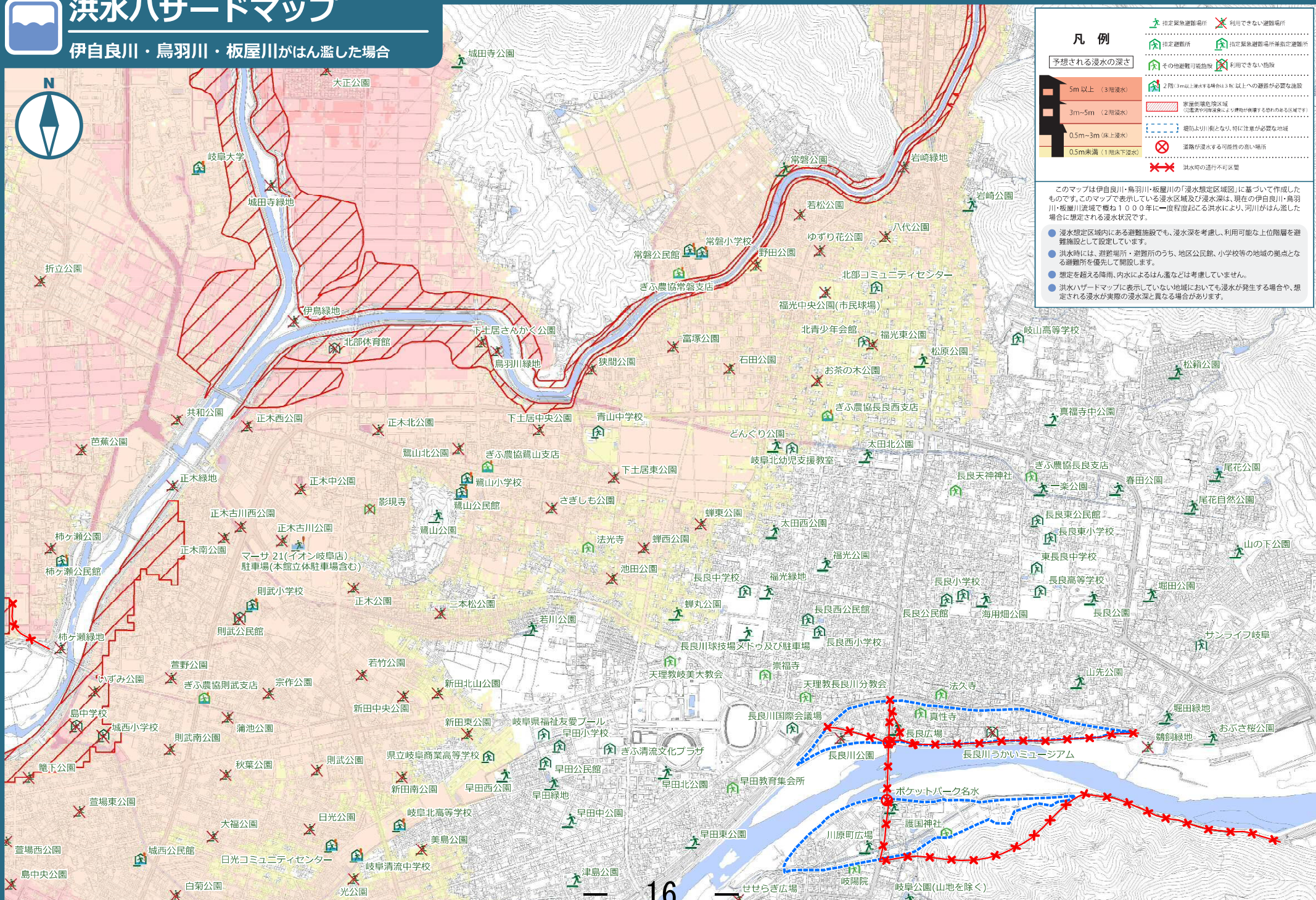
指定緊急避難場所	利用できない避難場所	高所への避難が必要な避難場所
指定避難所	指定緊急避難場所指定避難所	
その他避難可能施設	利用できない施設	
2階・3階以上建ち上る場合は3階以上の避難が必要な施設		
緊急避難危険区域 (巨直谷や河川敷等により建築物が倒壊する恐れのある区域等)		
道路が浸水する可能性の高い場所		
洪水時の通行不可区画		

このマップは長良川の「浸水想定区域図」に基づいて作成したものです。このマップで表示している浸水区域及び浸水深は、現在の長良川流域で概ね1000年に一度程度起こる洪水により、河川がはん濫した場合に想定される浸水状況です。

- 浸水想定区域内にある避難施設でも、浸水深を考慮し、利用可能な上位階層を避難施設として設定しています。
- 洪水時には、避難場所・避難所のうち、地区公民館、小学校等の地域の拠点となる避難所を優先して開設します。
- 想定を超える降雨、内水によるはん濫などは考慮していません。
- 洪水ハザードマップに表示していない地域においても浸水が発生する場合や、想定される浸水が実際の浸水深と異なる場合があります。



伊自良川・鳥羽川・板屋川がはん濫した場合



鷺山・長良西・長良

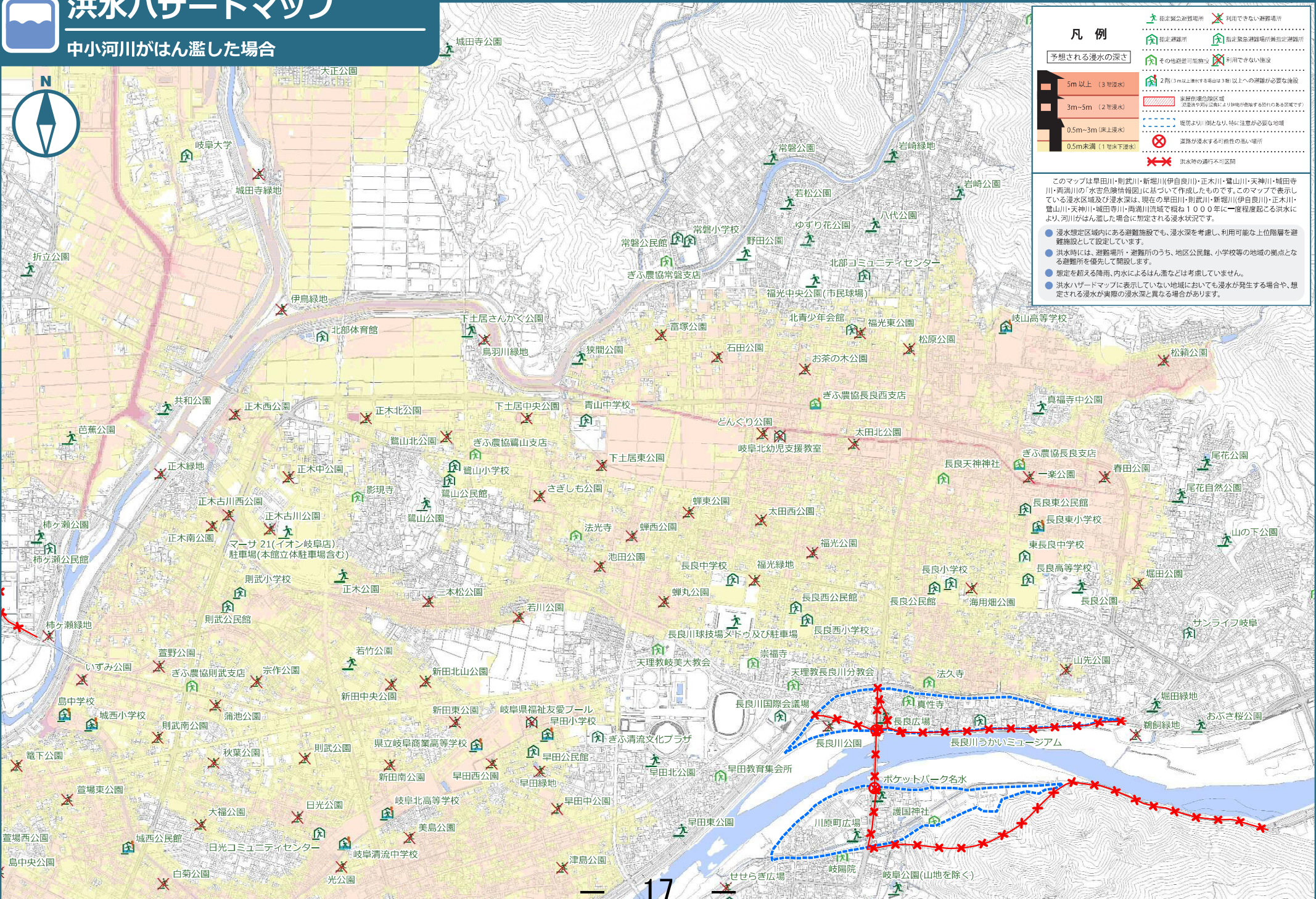
1:15,000

1,000 m



洪水ハザードマップ

中小河川がはん濫した場合



凡例

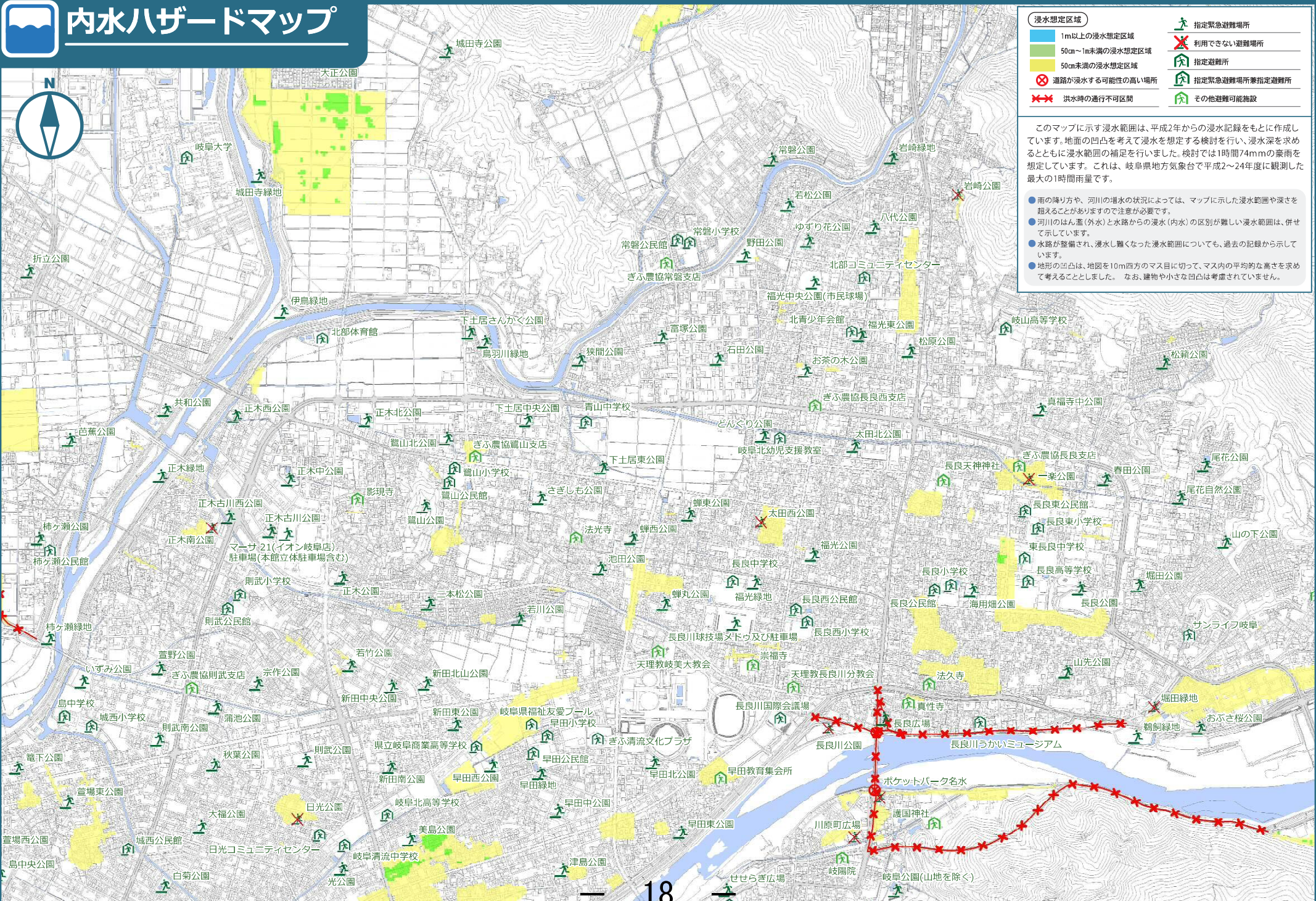
- 予想される浸水の深さ
- 5m以上 (3階浸水)
 - 3m~5m (2階浸水)
 - 0.5m~3m (1階浸水)
 - 0.5m未満 (1階未満浸水)
- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
 - 指定緊急避難場所
 - 指定避難場所
 - 指定緊急避難場所
- その他避難可能施設
- 指定避難所
 - 指定緊急避難場所
 - 指定避難場所
 - 指定緊急避難場所
- 2階以上浸水する場合は3階以上の避難が必要な施設
- 避難所指定区域
- 避難所指定区域
 - 避難所指定区域
- 堤防より高い土地に注意が必要な地域
- 道路が浸水する可能性の高い場所
- 洪水時の通行不可区間

このマップは早田川・則武川・新堀川(伊自良川)・正木川・鷺山川・天神川・城田寺川・西瀬川の洪水危険性図に基いて作成したものです。このマップで表示している浸水区域及び浸水深は、現在の早田川・則武川・新堀川(伊自良川)・正木川・鷺山川・天神川・城田寺川・西瀬川流域で概ね1000年に一度程度超える洪水により、河川がはん濫した場合に想定される浸水状況です。

- 浸水想定区域内にある避難施設でも、浸水深を考慮し、利用可能な上位階層を避難施設として設定しています。
- 洪水時には、避難場所・避難所のうち、地区公民館、小学校等の地域の拠点となる避難所を優先して開設します。
- 想定を超える降雨、内水によるはん濫などは考慮していません。
- 洪水ハザードマップに表示していない地域においても浸水が発生する場合や、想定される浸水深が実際の浸水深と異なる場合があります。



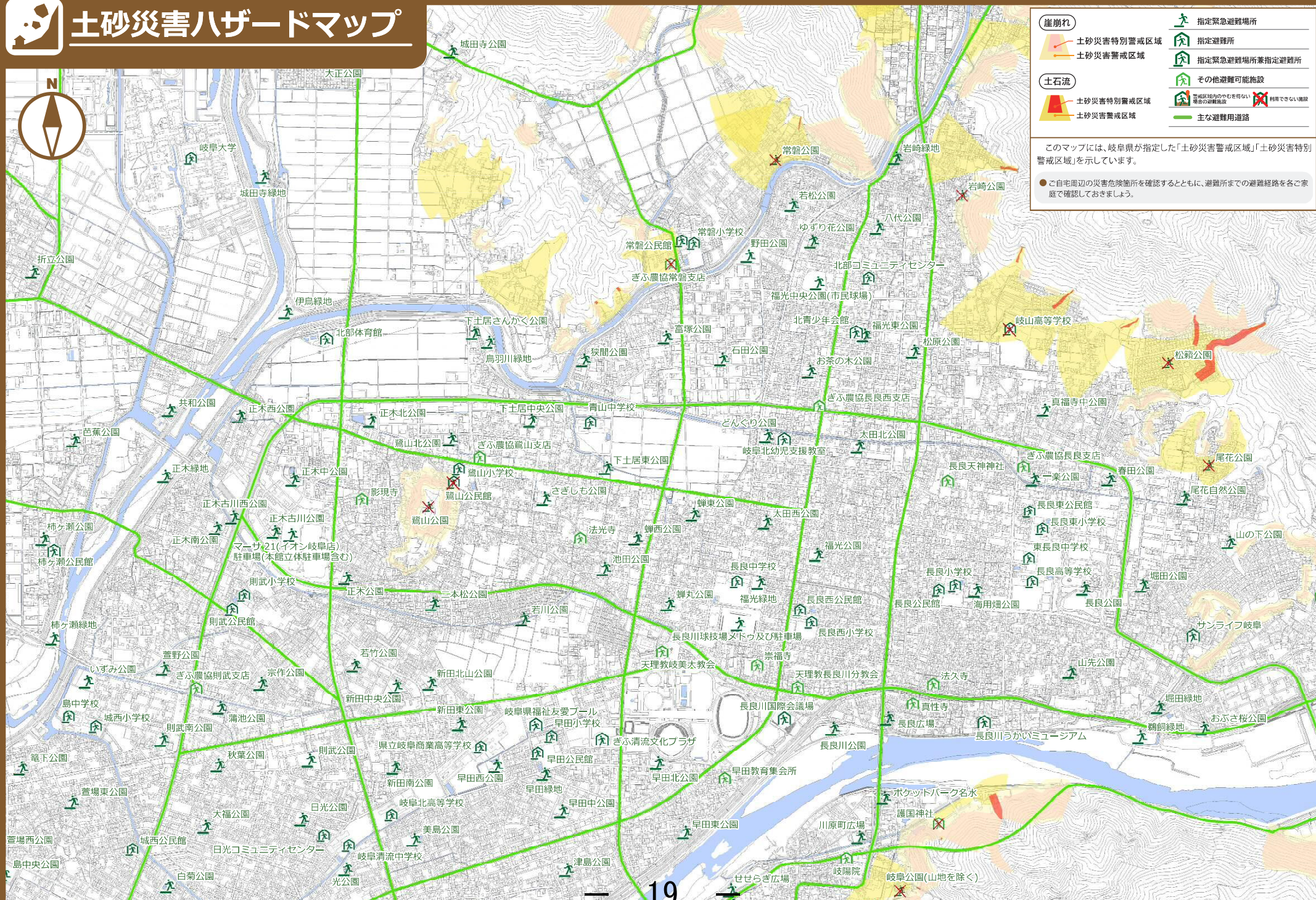
内水ハザードマップ



浸水想定区域		指定緊急避難場所	
	1m以上の浸水想定区域		指定緊急避難場所
	50cm～1m未満の浸水想定区域		利用できない避難場所
	50cm未満の浸水想定区域		指定避難所
	道路が浸水する可能性の高い場所		指定緊急避難場所兼指定避難所
	洪水時の通行不可区間		その他避難可能施設

このマップに示す浸水範囲は、平成2年からの浸水記録をもとに作成しています。地面の凹凸を考えて浸水を想定する検討を行い、浸水深を求めるとともに浸水範囲の補正を行いました。検討では1時間74mmの豪雨を想定しています。これは、岐阜県地方気象台で平成2～24年度に観測した最大の1時間雨量です。

- 雨の降り方や、河川の増水の状況によっては、マップに示した浸水範囲や深さを超えることがありますので注意が必要です。
- 河川のはん濫(外水)と水路からの浸水(内水)の区別が難しい浸水範囲は、併せて示しています。
- 水路が整備され、浸水し難くなった浸水範囲についても、過去の記録から示しています。
- 地形の凹凸は、地図を10m四方のマスキングして、マス内の平均的な高さを求めて考えることとしました。なお、建物や小さな凹凸は考慮されていません。



岐阜大学安否確認システム(ANPIC) 利用者マニュアル



はじめに

岐阜大学の「安否確認システム」は、2024年4月1日から「安否確認システム ANPIC (アンピック)」へ変更となります。本システムは、岐阜県・愛知県にて震度5弱以上の地震が発生した際に、本学の学生・教職員宛てに自動でメールを配信し、皆さんに安否・被災状況を報告いただくシステムです。これにより、災害発生時に皆さんの状況をタイムリーに集計・確認し、迅速な災害対応に役立てることが可能となっています。くわえて、上記の災害発生時以外にも被害状況等から必要に応じてANPICから手動でメールを配信する場合があります。

安否の報告方法については、届いたメールから回答する方法のほか、専用アプリやLINEからも回答可能です。回答方法は任意のため、各自で確実に回答できる方法を選択し、次頁以降のマニュアルを参照の上、事前の設定をお願いします。予測のできない大規模災害に備え、確実に安否報告が行える環境を各自が整えていただきますよう、よろしくお願いいたします。

ANPIC 簡単操作ガイドスマートフォン編

2024.04

岐阜大学 ANPICサイト

https://anpic-gifu-u.jecc.jp/gifu-u

ログインID : 学生→学籍番号 教職員→職員番号

初期パスワード : 初期設定サイトにて自ら設定したパスワード



パスワード変更/メールアドレス設定方法

(*)はオプションです

ログインする

ANPICサイトにアクセスします。
あらかじめ設定された
ログインIDとパスワードを正しく入力して
「ログイン」ボタンをタップしてください。
※ANPICサイトには、本資料上部に
記載のURLまたはQRコードでアクセス
してください。
※入力間違いにご注意ください。

メニュー表示方法



スマートフォンやタブレット端末では
メニューが非表示になっているため、
左上部のメニューボタンでメニューを
表示し、目的のページを開いてください。

パスワード、メールアドレスを登録、変更する

メニューの「アカウント設定」より、
アカウント設定画面にアクセスし、
【ログインパスワード】【メール】の
「編集する」ボタンから登録または
変更してください。
メールアドレス登録後、変更完了メール
が届いているか確認してください。
※変更完了メールが届かない場合、
指定受信設定や、メールアドレスの
修正等をおこなった後、テストメールを
送信し、【no-reply@jecc.jp】からの
メールを受信できることを必ず確認
してください。
※メールアドレスの入力間違いに
ご注意ください。

(*) ★メールアドレスを登録すると、
登録されたメールアドレスもログインIDとして使用できるようになります。

基本情報を変更する

氏名、組織情報、ログインIDを変更する場合は、管理者にお申し出ください。

アプリ・LINE 設定方法

スマートフォンをお使いの方は
アプリのご利用やLINEで通知を受け取ることができます。

※LINEで通知を受け取る場合も、ANPICアプリの
インストールが必須になります。
以下の手順で設定してください。

1.アプリをインストールする

「アカウント設定」内の【スマートフォンアプリ 端末情報】にある黒いアイコンから
インストール、もしくは App Store/Playストア/Google Playにて
「anpic」「アンピック」「あんびっく」のいずれかで検索しインストールしてください。
※上記手順で検索結果にアプリが表示されない場合は、
ANPICのHP(https://www.anpic.jp) 下部「無料アプリのダウンロードはこちら」から
以下アイコンをタップしダウンロード画面へ遷移してください。



2.アプリを起動し、ログインする

- ①インストールしたアプリのアイコンをタップして、起動する。
- ②起動後、プッシュ通知許諾確認メッセージが表示されたら、「OK」や「許可」
などで、通知を許可する。
- ③上記中央の確認画面が表示されたら、端末の設定ページにて設定を行う。
(設定手順や項目名は端末によって異なります。
詳細・手順は本紙2枚目「LINEやANPICアプリに通知が届かない場合」の
「共通の確認項目 2-1・2-2」参照)
- ④a. ANPICサイトのURLを直接入力する。または
b. アイコンをタップし、カメラでQRコードを読み込む。
※カメラの使用許諾確認メッセージが表示された場合、「OK」などで
[許可] をしてください。
※QRコードは、ログイン画面下部「QRコード」やログイン後のメニュー下部
「QRコード」からも表示できます。
- ⑤ご自身のログインIDとパスワードを入力し、「ログイン」ボタンより
ログインする。
※パスワードを忘れた場合、新しいパスワードを再発行するため、管理者に
お申し出ください。

★一度ログアウトすると、次回のアプリ起動時にURL、ログインID、パスワードの
入力が必要になります。
★機種変更をしたら、URL、ログインID、パスワードを再登録してください。

3.通知先を設定する

LINEで通知を受け取る場合

通知先を「LINE」にすると、アプリ
で通知を受け取ることができません。

★LINEアプリがインストールされていることを前提とします。



- ①LINE通知設定画面が表示されたら[設定する]をタップする。
- ②確認メッセージが表示されたら[OK]をタップする。
- ③認証画面が表示されたら[同意する]または[許可する]をタップする。
【iOS端末の場合、以下手順が必要な場合もあります】
- ④「このアプリを開きますか?」と表示されたら「確認」をタップする。
- ⑤「「ANPIC」で開きますか?」と表示されたら「開く」をタップする。



- ⑥友だち追加画面が表示されたら[追加]をタップする。
- ⑦LINEのトーク画面を確認し、上記の通知が届いていることを確認する。
- ⑧ANPICアプリを必ず開き、[設定]-[通知画面]で、[LINE]にチェックが
入っていることを確認したら設定は完了。

アプリで通知を受け取る場合

通知先を「アプリ」にすると、LINE
で通知を受け取ることができません。

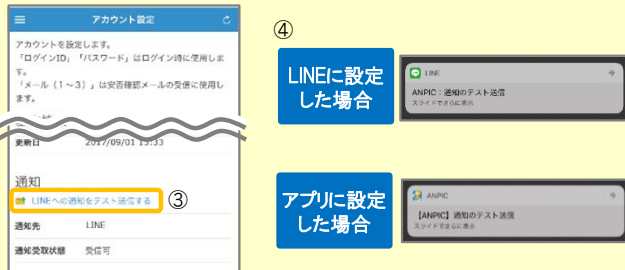


- ①LINE通知設定画面が
表示されたら
[設定しない]をタップ。
- ②設定方法についての
メッセージが表示され
たら[OK]をタップ。

4.WEBサイトにアクセスし、テスト送信する



- ① 安否報告画面を開き、🏠アイコンをタップして、Webサイトに移動する。
- ② メニューから「アカウント設定」をタップし「アカウント設定」画面を表示する。



- ③ [通知]の下にある「LINE通知をテスト送信する」または「プッシュ通知をテスト送信する」をタップする。
- ④ LINEまたはANPICアプリにプッシュ通知が届いたら設定完了。
通知が届かない場合、本資料下部に記載の「LINEやANPICアプリに通知が届かない場合 その他注意事項」をご確認ください。

ANPICアプリの利用方法

メニューを表示する

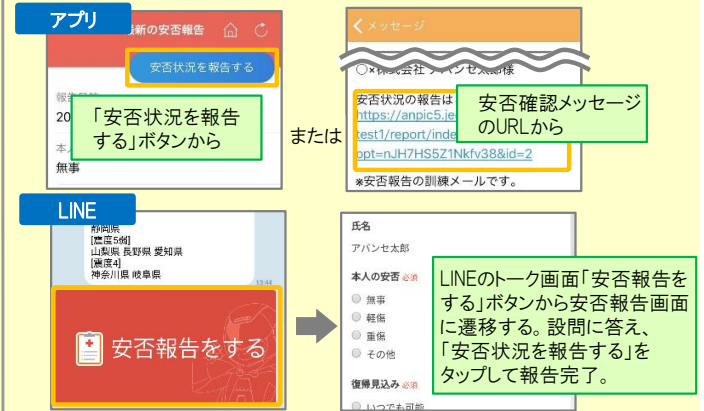


通知先を変更する

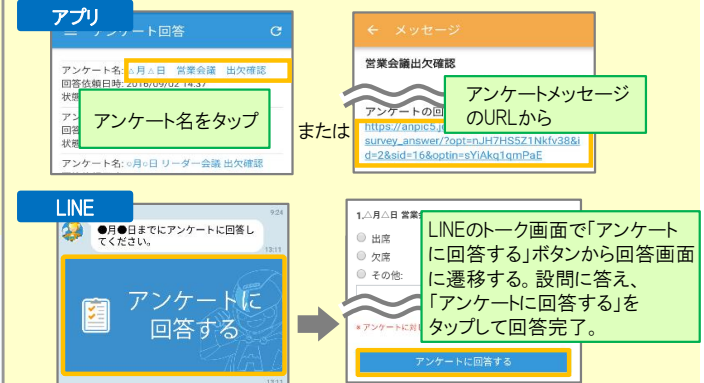
- アプリのメニューで[設定]-[通知]と進み、[LINE/アプリ/通知なし]から通知先を選択します。
- ★初回設定以降に通知設定(LINE / アプリ / 通知なし)を変更する場合、ANPICアプリの設定画面から通知先を変更してください。
 - ★通知先を[LINE]に設定した場合、設定完了後もANPICアプリを削除しないようにご注意ください。

アプリ・LINEからの回答方法

安否状況を報告する



アンケートに回答する



LINEやANPICアプリに通知が届かない場合 その他注意事項

通知が届かない場合は、下記の項目をご確認ください。(※機種により画面の名称が異なります。)

通知先を「LINE」に設定している場合

- ・ ANPICアカウントのブロックを解除する
- ・ LINEを最新バージョンにアップデートする

通知先を「アプリ」に設定している場合

- スマートフォン端末の設定でプッシュ通知をオンにする
- ・ [設定]→[通知]→[ANPIC]
 - ・ [設定]→[アプリ]→[アプリを管理]→[ANPIC]
 - ・ [設定]→[音と通知]→[通知の管理]
- アプリを最新バージョンにアップデートする

共通の確認項目 [1]

- ・ webサイトの「アカウント設定」画面を確認し、端末情報が表示されていない場合は、ANPICアプリからログアウトして再ログインする
- ・ OSバージョンを確認する
対象OS: iOS 14~16、Android OS 9~13 推奨
- ・ 1つのWi-Fiに、複数の通信端末で接続していないかを確認する
- ・ バッテリーセーブ機能、省電力モード等のチェックを外す (Androidのみ)
- ・ Wi-Fiの最適化をオフにする (Androidのみ)
- ・ アンチウイルス系アプリ、タスクキラー系アプリの設定を見直す (Androidのみ)

共通の確認項目 [2-1]

一定期間アプリを使用していないと、スマホ側の機能により自動的にアプリが取り除かれたり、アプリの機能が制限されたりする事があります。これによりANPICアプリが影響を受け、ANPICからの通知が届かなくなります。対処法は 右記 2-2 をご参照ください。

★マニュアル動画、Q&Aサイト等もあります。ご自身のアカウントにてWEBのANPICIにログイン後、メニュー内【関連サイトリンク集】からご確認ください。

【今後もご注意ください】

- ・ LINEを通知先にした場合でもアプリを削除しない
- ・ 通知先に関わらず、アプリからはログアウトしない
- ・ 1アカウントにつきアプリを設定できる端末は一つのみ (複数の端末にインストールしても、最後にインストール又はアクションを起こした端末1台にのみ通知が送られます)
- ・ 端末を変えた場合には、再度アプリにログインする
- ・ LINE、アプリは常に最新のバージョンにアップデートしておく

共通の確認項目 [2-2]

※端末によって項目名が異なる場合があります。

【iPhone】

[設定]→[iTunes StoreとApp Store]→[非使用のAppを取り除く]をオフにする
※[非使用のAppを取り除く]がオンになっていると、すべてのAppが自動で取り除かれる設定となりますが、以下の方法で任意のアプリのみ選択してAppを取り除く設定とする事もできます。
[非使用のAppを取り除く]をオフにした状態で、
[設定]→[一般]→[iPhoneストレージ]
→[(取り除きたいアプリ)]→[Appを取り除く]
※ANPICアプリはオンにしないでください。

【Android】

権限の自動削除設定や、アプリの一時停止設定をAまたはBの手順でオフにする
A.[設定]→[アプリと通知]→[ANPIC]→[アプリ情報]
→[アプリが使用されていない場合に権限を削除]をオフにする
B.[設定]→[アプリ]→[アプリを管理]→[ANPIC]→[権限]
→[権限を削除して空き容量を増やす]をオフにする

岐阜大学 ANPICサイト

https://anpic-gifu-u.jecc.jp/gifu-u

ログインID : 学生→学籍番号 教職員→職員番号

初期パスワード : 初期設定サイトにて自ら設定したパスワード



安否状況を報告する

メールから報告する場合

件名: 安否状況をお知らせください

(Please report your safety situation)

〇×株式会社 アバンセ花子様

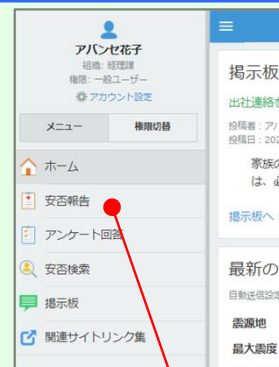
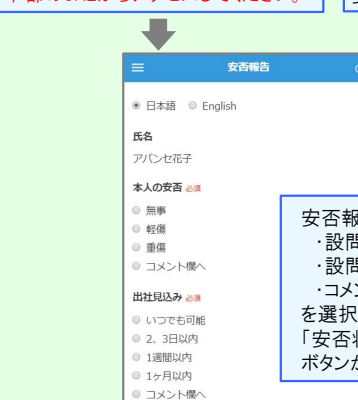
地震が発生しました。(An earthquake has occurred.)

以下のURLをクリックして、安否状況を報告してください。(Please visit the following URL and report your safety situation.)

https://anpic*.jecc.jp/***** /

●上記URLにアクセスできない場合は
こちらから↓(If you are unable to access the above
URL, please report your safety situation here.)
http://anpic*.jecc.jp/***** /安否確認メールのURLから安否報告
画面にアクセスしてください。※上記URLからアクセスできない場合、
下部のURLからアクセスしてください。

webサイトから報告する場合

メニューの「安否報告」ボタンより、
安否報告画面にアクセスしてください。安否報告画面で
・設問1(必須)
・設問2(必須)
・コメント(任意)
を選択または入力し、
「安否状況を報告する」
ボタンから報告してください。

安否を検索する(*)

メニューの「安否検索」ボタンより、
安否検索画面にアクセスし、安否情報を
確認したい相手の氏名または氏名のよみを
2文字以上入力して「検索する」ボタンから
検索してください。

アンケートに回答する

アンケートメール内にあるURLからアンケート回答画面にアクセスし、
質問に回答してください。メールアドレスやパスワードの登録、変更は、左記のweb編を参考にパソコンや
タブレット等からおこなってください。
※安否報告はガラケーからでも可能です。

安否状況を報告する

件名: 安否状況をお知らせください

(Please report your safety situation)

〇×株式会社 アバンセ花子様

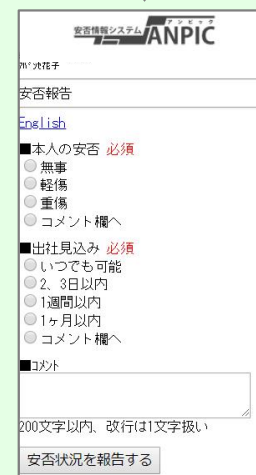
地震が発生しました。(An earthquake has occurred.)

以下のURLをクリックして、安否状況を報告
してください。(Please visit the following URL and
report your safety situation.)

https://anpic*.jecc.jp/***** /

●上記URLにアクセスできない場合は
こちらから↓(If you are unable to access the above
URL, please report your safety situation here.)
http://anpic*.jecc.jp/***** /

地震の詳細については以下の通りです。

安否確認メールのURLから
安否報告画面にアクセスしてください。※上記URLからアクセスできない場合、
下部のURLからアクセスしてください。安否報告画面で
・設問1(必須)
・設問2(必須)
・コメント(任意)
を選択または入力し、
「安否状況を報告する」
ボタンから報告してください。

アンケートに回答する

アンケートメール内にあるURLからアンケート回答画面にアクセスし、
質問に回答してください。

基本情報を変更する

氏名、組織情報、ログインIDを変更する場合は、
管理者にお申し出ください。

ログインする

ANPICサイトにアクセスします。
あらかじめ設定された、
ログインIDとパスワードを入力し、
「ログイン」ボタンよりログインしてください。

メニュー表示方法

スマートフォンやタブレット端末では
メニューが非表示になっているため、
左上部のメニューボタンでメニューを
表示し、目的のページを開いてください。

パスワード、メールアドレスを登録、変更する

メニューの「アカウント設定」より、
アカウント設定画面にアクセスし、
【ログインパスワード】【メール】の
「編集する」ボタンから登録または
変更をしてください。メールアドレス登録後、変更完了メール
が届いているか確認してください。※変更完了メールが届かない場合、
指定受信設定や、メールアドレスの
修正等をおこなった後、テストメールを
送信し、【no-reply@jecc.jp】からの
メールを受信できることを必ず確認
してください。
※メールアドレスの入力間違いに
ご注意ください。(*) ★メールアドレスを登録すると、
登録されたメールアドレスもログインIDとして使用できるようになります。

基本情報を変更する

氏名、組織情報、ログインIDを変更する場合は、管理者にお申し出ください。